

中国・樺太帰国者を知る集い

～中国残留孤児とその家族の人生～

終戦時満州や樺太にいて、戦後の引揚で日本へ帰ることができず労苦を重ねてきた日本人の方たちがいます（中国残留邦人、樺太等残留邦人※総称して中国残留邦人等といいます）。戦後数十年を経て、ようやく永住帰国を果たしたこの方たちも高齢となり、その体験を聞くことは年々難しくなっています。



中国残留邦人2世 長久保まりさん
(写真提供 首都圏中国帰国者支援・交流センター) 無断転載禁止

この集いでは、母親の人生を知ってもらいたいと、「**中国残留邦人等の体験と労苦を伝える戦後世代の語り部**」となり活動している残留邦人2世の講話をお聞きいただきます。

また、中国残留孤児との国際結婚で中国から来日した配偶者（札幌市在住）が、ご自身の体験を語ります。日本語の聞き取りもまだ完全にできないうちから働き、夫が要介護状態になってからは、施設入居を拒んだ夫を在宅介護で支え続けました。

この集いを通して、皆様の中国・樺太帰国者に対する理解を一層深めていただけますよう、多くのご参加をお待ちしています。

日時

令和7年 **3月1日(土)**

13:00～15:00 (受付開始 12:30～)

会場

かでの2・7 4階 大会議室

(札幌市中央区北2条西7丁目1番地)

定員

入場無料 定員100名

第1部 配偶者の体験談「中国残留孤児の夫と日本での暮らし」

第2部 戦後世代の語り部による講話「家族を求めて～中国残留孤児「間瀬珠美」の人生から～」

— お申し込み・お問い合わせは裏面をご覧ください —

- 主催：北海道社会福祉協議会 北海道中国帰国者支援・交流センター
- 後援：北海道、札幌市、札幌国際プラザ、札幌市社会福祉協議会



会場へのアクセス

札幌市中央区
北2条西7丁目1番地

《JR》

札幌駅（南口）

《地下鉄》

さっぽろ（10番出口）
大通（2番出口）
西11丁目（4番出口）

《バス》

北1条西7丁目停留所
（JRバス・中央バス）

申込方法

FAX・郵送・メールにて北海道中国帰国者支援・交流センターまでお申し込みください。
※メールの場合は「中国・樺太帰国者を知る集い」参加希望と記載のうえ、
①お名前 ②連絡先 ③（あれば）所属グループなど をお知らせください。



お名前	ご連絡先（住所・電話）	所属団体等（任意）
フリガナ -----	〒 ー 【電話】 ー ー	
フリガナ -----	〒 ー 【電話】 ー ー	
フリガナ -----	〒 ー 【電話】 ー ー	

※お預かりした個人情報は厳重に管理し、本事業以外の目的に使用しません

申込先・問い合わせ先



社会福祉法人 北海道社会福祉協議会 北海道中国帰国者支援・交流センター
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目1番地 かでのる2.7
Tel: 011-252-3411 / Fax: 011-252-3412
メール: hokkaidocenter@dosyakyo.or.jp